

カナダ政府がビスフェノール A を規制へ



2008年10月17日に、カナダ政府がビスフェノール A (BPA) を含むポリカーボネート製の哺乳瓶の輸入、販売及び広告の禁止に関する規制の立案を直ちに行うことが発表されました。また、環境中に放出されている BPA の量を制限する措置も講じる予定です。

BPA の評価は、まず新生児と 18 ヶ月未満の乳幼児への影響に着目していますが、すべての年齢のカナダ人への健康リスクも考慮に入れます。

ポリカーボネート製の哺乳瓶を使用した際に、高い温度で BPA が容器から人工乳に移行することが、新生児及び乳幼児への主な暴露源として確定されました。

また、BPA が廃水及びごみ埋立処分場の浸出液を通じて環境中に入ることも、カナダ環境省の科学者の調査で分かりました。BPA は、酸素の欠乏の状況では、環境中で緩慢に分解します。分解に時間がかかることと広い用途に使用されていることから、長い期間に BPA が水中に蓄積し、魚類及び他の生物に影響を与えるとしています。

当社では、ビスフェノール A の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 Health Canada News Release 2008-10-17 Bisphenol A Regulations

http://www.hc-sc.gc.ca/ahc-asc/media/nr-cp/_2008_167-eng.php

商品開発箇所 白亜力